

## ■ 取組みの方針

全国トップレベルの子育て支援を継続し、ライフステージに応じた結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行います。

さらに、市の未来を担う子どもの教育をさらに充実します。

## ■ 目指す目標

- ① より多くの人の子育ての希望が叶えられる
- ② 児童生徒が知・徳・体を育み、Society5.0（ソサエティ5.0）社会に対応する力を身に付ける。

## ■ 数値目標

## ① 合計特殊出生率

基準値（令和元年） （2019年） 2014-2018年の平均	最新値（令和7年） （2025年） 2020-2024年の平均	目標値（令和7年） （2025年） 2020-2024年の平均
1.62	1.36	1.83

※大分県に準じて設定

※結婚や出産については、個人の考え方や価値観が尊重されることが大前提であり、この目標は個人に対するものではなく、社会全体での達成を目指すものです。

※豊後高田市過疎地域持続的発展計画（令和3～7年度）においても同数値目標を設定し、一体的に取り組みを進めています。

<評価 … 達成状況 / 具体的な取組み内容 / 今後について>

## 【達成状況】

未達成

## 【具体的な取組み内容】

高校生までの医療費無料化、幼小中学校の給食費の無料化、幼稚園授業料と保育園保育料及び給食費の完全無料化、子育て応援誕生祝い金、無料市営塾の運営など全国トップレベルの子育て支援に加えて、令和2年度からは、妊産婦の医療費の無料化、令和3年度からは産婦健康診査費の助成と産後ケア事業を実施、令和4年度からは不足する保育所の整備や保育士への支援の拡充、子育て応援誕生祝い金の拡充、高田高校生のための無料市営塾開設、令和5年度からは高田高校に通う全ての高校生の授業料無料化（令和7年

度から国の制度に移管)、令和6年度からは、小中高校に入学時の祝い金や入院時の食事代を助成など、妊娠期から出産期、そして子育て期までのトータル的な支援策を実施しています。さらに令和7年度からは、高田高校生の希望する生徒に無料の昼食を提供しています。

合計特殊出生率は、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの平均子ども数に相当します。今回の令和7年の数値は1.36であり、目標値に達成しませんでした。本市の出生率はR2：1.61、R3：1.59、R4：1.61、R5：1.75、R6：1.43、R7：1.36となっておりR5年までは横ばい又は微増で推移していましたが、R6、7年で減少しています。合計特殊出生率の減少は、大分県全体も同様の傾向です。

R7年の出生率1.36は、近隣市の宇佐市(1.35)、杵築市(1.22)、国東市(1.20)と比べると、やや高い状況です。

なお、大分県の人口推計報告をもとに、全体の人口に対する年少人口(0～14歳)の割合をR2年とR7年で比較すると、本市は県内唯一増加(0.1ポイント増)しており、移住・定住施策の施策を強力に進め市外から子育て世代を呼び込んだ効果が出ています。

【年少人口の割合】 ※大分県の人口推計報告より

(単位：%)

	R2	R7	R7-R2
大分市	13.5	12.3	▲ 1.2
別府市	10.7	9.5	▲ 1.2
中津市	13.4	11.9	▲ 1.5
日田市	12.5	11.1	▲ 1.4
佐伯市	10.5	9.2	▲ 1.3
臼杵市	10.4	9.4	▲ 1.0
津久見市	8.9	7.5	▲ 1.4
竹田市	9.1	7.7	▲ 1.4
豊後高田市	11.0	11.1	0.1
杵築市	11.1	9.2	▲ 1.9
宇佐市	11.7	10.7	▲ 1.0
豊後大野市	10.1	8.7	▲ 1.4

由布市	12.6	12.5	▲ 0.1
国東市	9.1	8.2	▲ 0.9
姫島村	7.7	6.9	▲ 0.8
日出町	13.7	12.9	▲ 0.8
九重町	10.5	9.2	▲ 1.3
玖珠町	11.3	9.7	▲ 1.6

※参考（R2～R6 出生数）

（単位：人）

	R2	R3	R4	R5	R6	平均
豊後高田市	148	166	121	105	107	129.4
宇佐市	284	291	280	231	213	259.8
杵築市	154	110	125	110	93	118.4
国東市	111	116	104	73	76	96.0

※大分県 保健所別・市町村別合計特殊出生率の HP 参照

【今後について】 第3期まち・ひと・しごと創生プランの成果目標

	基準値 令和 6 年（2024 年）	目標値 令和 11 年（2029 年）
合計特殊出生率	1.43	1.66

②教育関連事業の目標値 ★がついている項目は達成項目

	基準値 (令和元年度) 2019年度	最新値 (令和6年度) 2024年度	目標値 (令和6年度) 2024年度
①児童生徒の学力（全国学力学習状況調査平均正答率）	小学校 国語 72.0% （全国平均 64.0%） 算数 67.0% （全国平均 67.0%）  中学校 国語 77.0% （全国平均 73.0%） 数学 62.0% （全国平均 60.0%）	小学校 ★国語 69.0% （全国平均 67.7%） 算数 57.0% （全国平均 63.4%）  中学校 ★国語 59.0% （全国平均 58.1%） 数学 48.0% （全国平均 52.5%）	全国平均を 全ての教科で上回る
②児童生徒の体力（全国体力・運動能力調査総合評価C以上の割合）	小学校 男子 92.8% 女子 86.0%  中学校 男子 81.1% 女子 93.2%	小学校 男子 81.1% ★女子 88.3%  中学校 男子 81.1% 女子 88.4%	小学校 男子 94% 女子 87%  中学校 男子 82% 女子 94% （直近の体力調査結果から設定）
③英語検定3級以上取得の中学生の割合	60%	★72.9%	65% （直近の学力調査結果から設定）
④児童生徒の授業における「タブレット端末」活用頻度（毎日一回以上活用）	小学校：0% 中学校：0%	★小学校：100% ★中学校：100%	児童生徒の授業における「タブレット端末」活用頻度（毎日一回以上活用）

⑤児童生徒の授業評価で「主体的で対話的で深い学び」に関する項目で肯定的な回答	94%	★95%	95% (学力向上アクションプランで設定している)
⑥運動好きな児童生徒の割合	小学校 男子 97.5% 女子 86.1%  中学校 男子 93.4% 女子 73.8%	小学校 男子 90.6% 女子 85.1%  中学校 男子 88.5% 女子 78.0%  (小学校5年生、中学校2年生のみ実施)	小学校 男子 95% 女子 90%  中学校 男子 95% 女子 80%  (体力向上アクションプランで設定している)
⑦大分県体力調査において、全国平均値以上である項目の割合	70.1% (101/144 項目)	75.7% ( 108/144 項目)	80% (115/144 項目)

※教育関連事業の目標値について

創生プランの目標は長期目標であり、各学年の実態に応じた短期目標は、学力向上アクションプラン等で設定する。

<評価 … 達成状況 / 具体的な取組み内容 / 今後について>

<p><b>【達成状況】</b></p> <p>★がついている項目は達成</p> <p>未達成の項目</p> <p>①児童生徒の学力（全国学力学習状況調査平均正答率）</p> <p>小学校 算数</p> <p>中学校 算数</p> <p>②児童生徒の体力（全国体力・運動能力調査総合評価C以上の割合）</p> <p>小学校男子</p> <p>中学校男子・女子</p> <p>⑥運動好きな児童生徒の割合</p> <p>小学校男子・女子</p> <p>中学校男子・女子</p>
--

⑦大分県体力調査において、全国平均値以上である項目の割合

【具体的な取組み内容】

学力向上については、学習指導要領に基づく「主体的・対話的で深い学びを実現する」授業改善を、「個別最適な学び」・「協働的な学び」を軸にして実施しました。

英語力向上については、小中合同の外国語推進協議会を開催し、具体的な指導のあり方を検討し実践しました。

体力向上についても、授業改善・1校1実践や家庭での体力づくりに努めました。

ICT活用については、児童生徒がタブレット端末を効果的に活用することを目指し、教職員対象の研修会や授業研究会を充実させ、組織的な取組に繋がりました。

【今後について】第3期まち・ひと・しごと創生プランの成果目標

	基準値	目標値
	令和6年度(2024)	令和11年度(2029年)
児童生徒の学力 (全国学力学習状況調査平均正答率)	小学校 国語 69.0% (全国平均 67.7%) 算数 57.0% (全国平均 63.4%) 中学校 国語 59.0% (全国平均 58.1%) 数学 48.0% (全国平均 52.5%)	全ての教科で 全国平均を上回る
児童生徒の授業評価で「授業がわかる」に関する項目で肯定的な回答	94%	95%
英語検定3級レベル以上 (CEFR(セファール)A1以上) 取得の中学3年生の割合	60%	65% (直近GTEC(ジータック)調査結果等から設定)
授業でICT機器をほぼ毎日使用している小・中学校の児童生徒の割合	小学校 38.6% 中学校 46.0%	小学校 100% 中学校 100%
児童生徒の体力(全国体力・運動能力調査総合評価C以上の割合)	小学校 男子 81.1% 女子 88.3%	小学校 男子 85% 女子 85%

	中学校 男子 81.1% 女子 88.4%	中学校 男子 85% 女子 85% (体力向上アクションプランで設定している)
運動好きな 児童生徒の割合	小学校 男子 91.3% 女子 90.0% 中学校 男子 90.3% 女子 79.7%	

## Ⅱ ひとを大事に活力創生

### ■ 取組みの方針

いつまでも健康で長生きしましょう！を合言葉に、健康なまちづくりを市民総ぐるみで強かに推進します。

### ■ 目指す目標

より多くの人の健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均）が延伸する

### ■ 数値目標

#### ◎ 健康寿命（お達者年齢）

基準値（平成 30 年） （2018 年） 2013-2017 年の平均	最新値（令和 6 年） （2024 年） 2019-2023 年の平均	目標値（令和 6 年） （2024 年） 2019-2023 年の平均
男性：78.23 歳 女性：83.38 歳	男性：79.90 歳 女性：85.25 歳	男性：79.67 歳 女性：84.38 歳

※大分県に準じて設定

※大分県のお達者年齢の定義は、

要介護 2 以上の認定を受けてない人を健康とみなして算出している。

※豊後高田市過疎地域持続的発展計画（令和 3～7 年度）においても同数値目標を設定し、一体的に取り組みを進めています。

<評価 … 達成状況 / 具体的な取組み内容 / 今後について>

【達成状況】

男女とも達成

【具体的な取り組み内容】

- ①各種健康づくり事業を推進し、日常生活で実践できるよう栄養・食生活、身体活動・運動等について疾病予防に関する知識の普及啓発を行い、市民の健康意識の向上につとめた。
- ②疾病の早期発見、早期治療を目的とした各種健康診査（特定健康診査・がん検診など）の受診を積極的に進め、40歳未満の若い世代にも各種検診の受診勧奨をおこなった。健診後に要指導域の方や要精密者に対し、適切な保健指導や早期の受診勧奨を実施した。
- ③総合健診時に歯周病リスク検査を取り入れることで歯科口腔保健への意識啓発も行った。
- ④健診や医療機関の未受診者等へ訪問し、状態把握や受診勧奨を行うとともに、医療機関等と連携を図り生活習慣病の重症化予防について保健指導を実施した。また、健康相談、健康教室、個別指導などの機会を通じて行動変容へむけた支援を継続的に行った。

【今後について】第3期まち・ひと・しごと創生プランの成果目標

	基準値	目標値
	令和5年（2023年） 2018-2022年の平均	令和11年（2029年） 2024-2028年の平均
健康寿命 （お達者年齢）	男性：80.25歳 女性：85.30歳	男性：81.15歳 女性：85.82歳

### Ⅲ ひとを呼び込み活力創生

#### ■ 取組みの方針

様々なニーズに対応したきめ細やかな移住支援、魅力的な住環境整備等を推進します。

そして、市全体の振興に資する新たな観光振興策を推進し、都市圏等や海外からの人の流れをさらに促進します。

#### ■ 目指す目標

- ① 転入者が転出者を上回る
- ② 観光客数が増加する

#### ■ 数値目標

##### ① 移住施策を活用した転入者数

基準値（平成 30 年度） 2018 年度	最新値（令和 6 年度） 2024 年度	目標値（令和 6 年度） 2024 年度
275 人／年	260 人／年 累計 1,461 人	1,150 人 (5 年間の累計)

※年間に、人口の約 1%の転入者数を見込んで目標を設定  
(目標値設定の令和 2 年 2 月末時点人口 22,600 人)

※豊後高田市過疎地域持続的発展計画（令和 3～7 年度）においても同数値目標を設定し、一体的に取り組みを進めています。

<評価 … 達成状況 / 具体的な取組み内容 / 今後について>

#### 【達成状況】

達成

#### 【具体的な取組み内容】

移住施策としては、移住希望者への案内、各種支援制度業務、現地体験ツアー、移住フェアの参加、オンラインでの移住相談会、空き家バンク物件確保に向けた広報等を実施した。

また、インスタグラムや公式 LINE 等の SNS を使った広報を積極的に行った。結果として、移住実績は 124 世帯 260 人となり、令和 6 年の転入者数（1,018 人）が転出者数（942 人）を 76 人上回る、社会増を達成することができた。

【今後について】第3期まち・ひと・しごと創生プランの成果目標		
	基準値 令和5年度(2023)	目標値 令和11年度(2029)
移住施策を活用した転入者数	247人/年	1,150人 (5年間の累計)

## ②観光入込客数

基準値(平成30年) 2018年	最新値(令和6年) 2024年	目標値(令和6年) 2024年
1,300千人/年	976千人/年	1,400千人/年

※下記事業等の取組み及び点から面への広域的な観光振興により、令和6年に140万人/年を見込んで目標を設定

- ・長崎鼻リゾートキャンプ場リニューアル(デジタルアートギャラリー等)
- ・昭和の町リ・ブランディング事業
- ・昭和の町誕生20周年
- ・昭和の町新拠点施設オープン

※豊後高田市過疎地域持続的発展計画(令和3~7年度)においても同数値目標を設定し、一体的に取り組を進めています。

<評価 … 達成状況 / 具体的な取組み内容 / 今後について>

<p>【達成状況】</p> <p>未達成</p> <p>【具体的な取組み内容】</p> <p>①令和6年度は、「恋人の聖地」に認定されている「恋叶ロード」のプロモーションを行うため、県外イベント(広島県、福岡県)に積極的に参加した。特に、JR博多シティとタイアップして実施した「博多レトロ博」では3日間で累計25,000人の来場者が訪れるなど賑いを見せた。今後も引き続き、誘客イベント等のソフト事業を通じて、さらなる活性化につなげていきたい。</p>
---

- ②長崎鼻リゾートキャンプ場については、コロナ禍のキャンプブーム以降も依然として高い人気を誇っている。一方でビーチのグランピング施設については、近年、類似施設が近隣に次々と稼働していることもあり、入込客数が減少傾向にある。施設の更新を含め、引き続き、観光客ニーズに即した魅力創出を図っていくことが不可欠となっている。
- また、令和8年度には南欧風のコテージが供用開始予定であり、「新たな魅力」を長崎鼻全体の魅力化・高付加価値化に波及させ、更なる観光需要の創出を推進していく必要がある。
- ③昭和の町では、コロナ禍後、令和4年、令和5年と順調に観光客数が伸びてはきているものの、コロナ禍前の水準までは回復していない。
- 令和6年度においては、年間を通じて誘客イベントを開催するとともに、昭和ロマン蔵の昭和の夢町三丁目館を当時の遊びやゲームが体験できる施設へと一部リニューアルするなど、滞在時間の延長と、満足度の向上をめざした取り組みを行った。
- また、令和7年の昭和100年、令和8年の昭和の町誕生25周年に向けて、商店街組織の基盤強化を図るためのワークショップ等を行い、次年度以降の取り組みの足掛かりとなった。
- ④商店街の魅力向上及び定住人口増を目指し、旧大銀跡地と旧安東薬局に整備した創業支援施設（店舗併用住宅、交流拠点施設）が令和2年度に完成した。令和3年度に5軒のうち3軒がオープンし、令和4年度には2軒がオープン。昭和の町の新しい拠点として、昭和の町の活性化につながっている。（令和5年度で6軒すべてオープン済み）

【今後について】第3期まち・ひと・しごと創生プランの成果目標

	基準値 令和5年（2024）	目標値 令和11年（2029）
観光入込客数	994 千人／年	1,400 千人／年

## Ⅳ 仕事をつくり活力創生

### ■取組みの方針

企業誘致（増設を含む）を積極的に推進します。

そして、商工業、農林水産業の振興を図り、ふるさと納税も積極的に推進します。

さらに、女性や高齢者など多様な人材が活躍できる就労支援を行います。

### ■目指す目標

市内における雇用の維持と創出が図られる

### ■数値目標

#### ①企業誘致件数（増設を含む）

基準値（平成 30 年度） 2018 年度	最新値（令和 6 年度） 2024 年度	目標値（令和 6 年度） 2024 年度
6 件 (5 年間の累計)	1 5 件 (5 年間の累計)	3 件 (5 年間の累計)

※ 2 年に 1 件の誘致を見込んで目標を設定

※ 豊後高田市過疎地域持続的発展計画（令和 3～7 年度）においても同数値目標を設定し、一体的に取り組みを進めています。

<評価 … 達成状況 / 具体的な取組み内容 / 今後について>

#### 【達成状況】

達成

#### 【具体的な取組み内容】

令和 6 年度については、県と連携して企業誘致の推進を行った結果、既存企業 3 社の増設（※県の認定基準による）とサテライトオフィスのオフィス海門荘に 1 社の進出があった。

#### 【今後について】第 3 期まち・ひと・しごと創生プランの成果目標

	基準値 令和 5 年度（2023）	目標値 令和 11 年度（2029）
企業誘致件数 (増設を含む)	1 件	5 件 (5 年間の累計)

## ②雇用創出者数

基準値（平成 30 年度） 2018 年度	最新値（令和 6 年度） 2024 年度	目標値（令和 6 年度） 2024 年度
583 人／年	387 人／年 5 年間の累計 2,038 人	2,150 人 (5 年間の累計)

※年間 430 人の雇用創出者数を見込んで目標を設定

※目標設定時点（令和 2 年 2 月末時点）の雇用情勢を考慮し、有効求人倍率が近い平成 27 年実績の雇用創出水準（454 人/年）の維持を見込む

※生産年齢人口が減少（今後 5 年間で約 8 %減）する中でも、女性や高齢者など多様な人材の雇用の場を創出することで、年間雇用創出者数の目標は平成 27 年実績の 5%減程度に維持できると見込む（454 人(H27)×95%=431 人）

（生産年齢人口の今後の推移）

平成 27 年国勢調査実績(2015):11,837 人

令和 2 年社人研推計（2020）：10,716 人(H27 から△1,121 人

△9.4%減)

令和 7 年社人研推計（2025）：9,867 人(R2 から△849 人△7.9%減)

※豊後高田市過疎地域持続的発展計画（令和 3～7 年度）においても同数値目標を設定し、一体的に取り組みを進めています。

<評価 … 達成状況 / 具体的な取組み内容 / 今後について>

### 【達成状況】

未達成

### 【具体的な取組み内容】

①令和 6 年度は、企業合同就職説明会を昨年に引き続き開催し、市内企業 20 社が参加し、市内で就職を考えている 31 人（当日は悪天候のため、前年度比△55 人）が参加した。

②無料職業紹介所を活用した移住希望者への求人情報の発信や職業斡旋、障がいをもつ就労者向けの送迎事業の運営等を実施したが、雇用創出者の目標値を下回った。

【今後について】第3期まち・ひと・しごと創生プランの成果目標

	基準値 令和5年度(2023)	目標値 令和11年度(2029)
雇用創出者数	398人/年	2,085人 (5年間の累計)